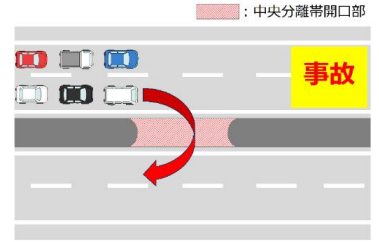


レーンオープナー

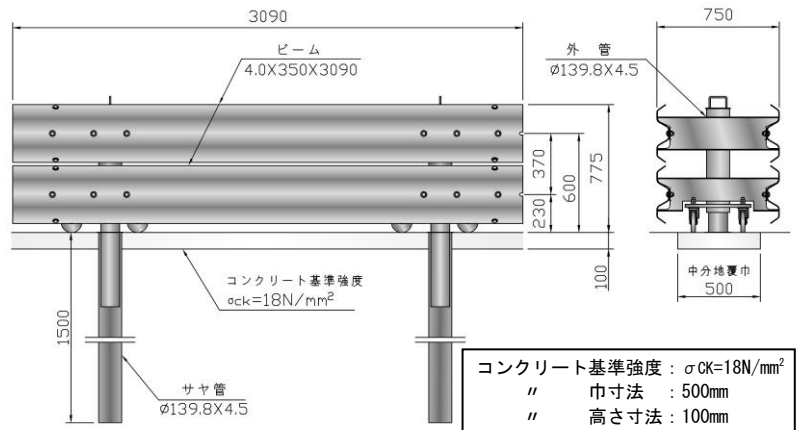
人力で脱着可能な緊急開口部用ガードレール(Am種)

開発経緯と目的

高速道路上で、交通事故等で長時間におよぶ通行止めが発生した場合、事故現場より後方の車両が滞留してしまいます。このような場合、速やかな滞留車両の流出が求められ、反対車線を活用して滞留車両の流出を行う必要があります。このため、クレーンや工具等を使用せずに作業ができ、短時間で簡易に着脱できる緊急開口部用ガードレールを中日本高速道路株式会社と共同開発しました。



形状



特長

● キャスターを採用

キャスター（車輪）を使用することにより、人力で移動させることが可能です。

● サヤ管式により防護柵を定着

防護柵側の差込管をサヤ管に落込み定着させる方式です。開放する場合は、人力でピンを引抜き、差込管を引上げるだけで、防護柵を移動させることが可能です。



従来の中央分離帯開口部用
ガードレールの取外し作業状況

取外し作業状況



従来の緊急開口部用ガードレールでは、クレーンなどの手配を含め開口部1箇所(約50m)分の取外しに4時間程度(うち現場での取外し作業は1時間程度)必要だったところ、本製品ではクレーンや工具が不要なため、15分程度で取外しが可能です。

性能確認

強度・車両誘導等の安全性について、実車衝突実験を行い、車両用防護柵種別Amの基準を満足している事を確認しました。



※一部写真等中日本高速道路株式会社提供